

## アートイベント「TOKYO 2021」 いよいよ美術展がスタート

—新 TODA ビル展は継続開催—

戸田建設(株)(社長:今井 雅則)は、2019年8月3日(土)から10月20日(日)までの期間で、当社として初めてのアートイベント「TOKYO2021」を開催していますが、前半の建築展に続く美術展が9月14日(土)からスタートしますのでお知らせします。当社主催のもと、アーティスト藤元明氏の総合ディレクション、建築家永山祐子氏の企画アドバイスによるアートイベントで、美術展は美術家・美術評論家黒瀬陽平氏のキュレーションになります。

なお、同時に開催している現ビル解体後の新しいビルを紹介する新 TODA ビル展は継続して開催しています。

### 1. アートイベント「TOKYO2021」の概要



名称: TOKYO 2021  
会期: 2019年8月3日(土)～10月20日(日) 11:00～20:00  
建築展: 課題「島京 2021」(8月3日～8月24日)  
美術展: 「un/real engine」(9月14日～10月20日)  
(定休: 毎週火曜)  
※見学は事前登録制(無料)  
※建築展は終了しました。  
会場: TODA BUILDING1階 東京都中央区京橋 1-7-1

### 2. 美術展の開催

美術展テーマ: 「un / real engine - 慰霊のエンジニアリング - 」

「災害」と「祝祭」を繰り返してきたこの国の歴史の中で、文化や科学は新たな想像力や表現、技術を生み出してきました。本展ではその営みを「慰霊のエンジニアリング(engineering of mourning)」と名付け、その系譜の一部として日本現代美術史を再構成します。情報社会化がはじまった1970年代を起点に、日本現代美術がいかに同時代の文化やテクノロジーを取り入れ、「シミュレーター」として様々な災害記憶をヴァーチャル化し、unrealな領域で作り変え、投企してきたのか、その歩みをたどっていきます。

詳細は公式ウェブサイト(<https://tokyo2021.jp>)をご覧ください。

### 3. 新 TODA ビル展の開催

イベント会場に併設して、戸田建設本社ビル建替えプロジェクト(仮称)を紹介する新 TODA ビル展を開催しています。「新 TODA ビルの誕生を皆で祝福する」をコンセプトとし、建設会社らしく単管パイプを用いて御神輿や櫓を表現した祝祭性のある空間の中で、新 TODA ビルの模型、特区提案概要、新ビル設計コンセプト等の紹介を行っています。



展示ブース